HCLSoftware

アプリケーションの Domino V14 対応と支援ツールのご紹介

株式会社エイチシーエル・ジャパン

HCLSoftware

目次

- アプリケーションのバージョンアップ対応
- バージョンアップ計画やアプリケーション検証を支援するツール
 - カンタン移行判定ツール
 - Hint&Tips集
 - ・ 移行チェックツール(NDACC)



アプリケーションのバージョンアップ対応

バージョンアップ対応作業の流れ

Domino バージョンアップにあたり、アプリケーションの利用状況を調査すると共に、バージョンアップ後の「あるべき姿」を検討します。

ユーザー業務の見直しに伴い、新バージョンの機能活用もご検討ください。

- <u>✓ ブラウザ対応(Nomad Web 利用)</u>
- ✓ スマートフォン対応(Nomad Mobile 利用)
- **✓ モダナイゼーション**
- ✓ 他システムとのデータ連携 ···etc.

字価・分析 非互換情報の収集・ アプリケーションの分類 非互換情報の収集・ 修正方針の検討 非互換箇所の把握 非互換箇所の 修正・テスト 必要に応じ、修正・テスト 必要に応じ、修正・テスト

バージョンアップ対応作業の流れ

Domino は下位互換性を保っており、基本的にバージョンアップに伴う Domino アプリケーションの改修は必要ありません。 ただし、新バージョンにおいて、機能拡張や仕様変更、不具合修正等により、一部の機能の動作が変わる場合があります。 アプリケーションを新バージョンに移行する際は動作が変わる箇所を確認し、必要に応じて修正します。

評価·分析

方針の検討とアプリケーションの分類

非互換情報の収集・修正方針の検討

非互換箇所の把握

非互換箇所の 修正・テスト

バージョン アップ

- ✓ アプリケーションの調査
 - 利用状況
 - 重要度
 - 複雑度
- ✓ あるべき姿の検討
 - 業務の見直し
 - **-** モダナイズ

- ✓ 方針の検討
 - 単純バージョンアップ
 - Nomad 対応
 - **-** モダナイゼーション
- ✓ アプリケーションの選別
 - 対象·保管用·廃 止

- / 非互換情報の入手
- ✓ 修正方針の検討
- ✓ 修正箇所の調査
- ✓ 修正要否の確認
- ✓ 修正作業量見積もり
- ✓ 修正作業
- ✓ テスト

HCLが提供する3つの移行支援ツールで、 効率的なアプリケーション移行を

アプリケーション検証のポイント

バージョンに応じた対応を

最新バージョンは下位互換を保っており、非互換も少なくなっています。重要なアプリケーションのみ非互換箇所がないか、チェックを行い、以下のようなアプリケーションについては、優先度をさげることもご検討ください。

- 掲示板のような参照と簡単な登録が中心のアプリケーション
- 処理が一時的にとまっても許容できるアプリケーション

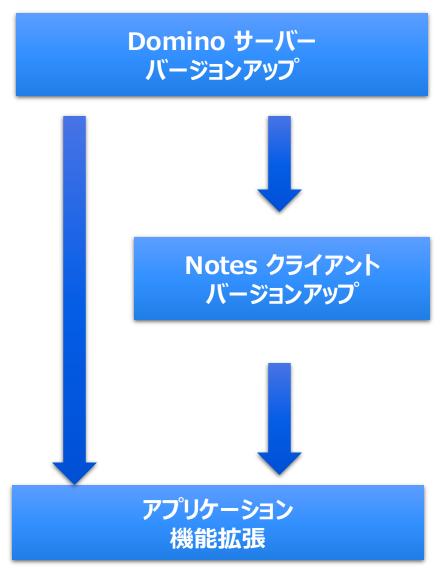
環境の変更

サーバーのプラットフォーム変更やクライアントの OS 変更など、環境の変更はアプリケーションを検証するポイントです。 Domino アプリケーションは

- Notes クライアントでご利用の場合、スクリプトや式・関数は Notes クライアントが処理を行います。
- ブラウザでご利用の場合、スクリプトや式・関数は Domino サーバーが処理を行います。

Notes はクライアントの更改に合わせてバージョンアップするなど、対応の負荷を分散させることも1つの方法です。また最新のNotes クライアントで接続してみてどの程度動作するかを事前に確認することも有効です。

アプリケーション検証のポイント



サーバー上で動作するプログラムを中心に修正・動作確認

- スケジュールエージェント等、サーバー上で動作するプログラム(ユーザー管理や 他システムとの連携など)
- ブラウザアクセスしているアプリケーション
- ドミノディレクトリのカスタマイズや、システム系DBと関連したアプリケーション
- 移行に伴いサーバー名やプラットフォームの変更等がある場合はその対応

クライアント上で動作するプログラムを中心に修正・動作確認

- ボタン・アクションメニュー等、フォームやビューを中心としたプログラム
- 見た目・印刷イメージ etc
- クライアントバージョンが混在する場合は修正後に旧バージョンで影響がないことを確認

アプリケーションに新しい価値を加える

- ・ ブラウザ、スマートフォン対応
- データ有効活用
- 他システムとの連携

バージョンアップ計画やアプリケーション検証を支援するツール

- カンタン移行判定ツール
- 移行Hint & Tips集
- 移行チェックツール(NDACC)

アプリケーションのバージョンアップを支援する3つのツール

- 1. カンタン移行判定ツール
- 2. Hint&Tips集
- 3. 移行チェックツール(NDACC[※])

評価·分析

アプリケーションの分類

非互換情報の収集・修正方針の検討

非互換箇所の把握

非互換箇所の 修正・テスト バージョン アップ

【カンタン移行判定ツール】 アプリケーションを分析し、 絞り込みや移行方針検討 に役立つ情報を提供

- 設計の複雑度
- 設計の類似度
- 移行ワークロード

【Hint&Tips集】

バージョン毎、クライアント 種別毎の非互換情報、改修方法の提供 【移行チェックツール】 既存アプリケーションに含まれる非互換になる可能性がある設計要素を自動的に抽出

カンタン移行判定ツールの概要

アプリケーションの整理と移行計画の立案を支援

- ✓ 簡単に移行できるアプリケーションのふるいわけ
- ✓ 移行対象とするアプリケーションの**選定作業**の支援

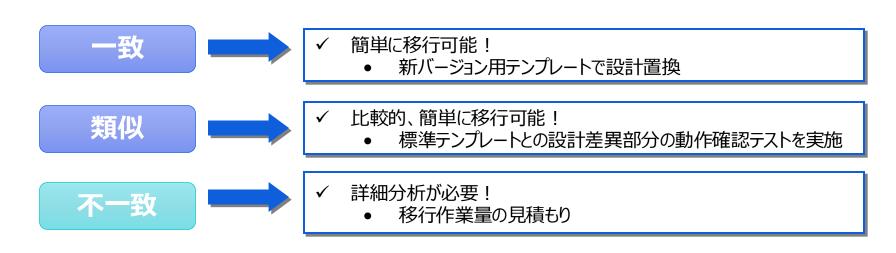


カンタン移行判定ツール ~「簡単に移行できるアプリケーション」のふるいわけの支援~

ふるいわけ方法

比較基準テンプレートと移行対象アプリケーションの設計の類似度を判別します。

ツールには R5~8 の標準テンプレートを内蔵していますが、**自社開発の比較基準テンプレートとして登録することも可能です。**自社開発テンプレートの整理にも役立ちます。



| *あいまい判定基準 | ? | ೯ する ೧しない |
|-------------|---|----------------------------|
| 設計要素による類似率 | ? | 『50』%以上、一致または類似の場合に「類似」と判定 |
| 設計要素サイズ許容範囲 | ? | ± 5 1000 g Byte |
| | | |

- ※ あいまい判定基準は、カスタマイズ可能
- ※ツールデフォルトは、50% (それ以上は「類似」と判定)

カンタン移行判定ツール ~ 利用時の注意点(1/2) ~

- 分析対象DBに対して、「設計者」以上のアクセス権が必要です。
- 設計要素の名前が変われば、別のものとして判別されます。
 - ツールは「名前」と「サイズ」のみで比較します。
- 初期使用時のセットアップ処理時間は数十分かかります。
 - 初期ビューの索引構築を自動的に行うためです。
- ツールDBのサイズは増加します。
 - 分析結果はすべて文書として、ツールDBに格納されます。

対策: 事前に不要な「内蔵済み標準Lotus Notesテンプレート情報」文書は削除してください。

- 処理時間は、下記に依存します。
 - ツールの実行環境の構成やH/Wスペック
 - 分析するテンプレートやDBの個数、および含まれる設計要素の数

推奨: 多数のDBの分析を実行する場合、事前に数個のDBで試行することを推奨します。

カンタン移行判定ツール ~ 利用時の注意点(2/2) ~

- ツールはローカルに配置してください。
 - 全ての比較対象アプリケーションの全設計要素の情報を読み込むなどのトラフィックが発生するため、ネットワークへの負荷が高くなる場合があります。

推奨環境:ツール本体、および比較対象DBはテスト環境、またはクライアントに配置して分析処理を実行してください。

■ 実サーバー上のデータベースを直接分析する場合にはユーザー利用や、サーバーの負荷が低い時間帯に実行してください。

注意: ツールの分析処理中にサーバーが停止すると、正しい分析結果が得られない場合があります。

稼働環境と入手方法 ~カンタン移行判定ツール~

• 稼働環境について

- HCL Notes クライアント上で動作可能
- 他製品のインストールは不要



入手方法

技術情報「KB0074161:製品資料: Notes/Domino カンタン移行判定ツール」より入手してください。

Hint&Tips 集の概要

アプリケーションの非互換情報の確認作業を支援

- ✓「非互換情報収集」「修正方法検索」の作業負荷を軽減
- ✓ トラブルの未然防止

- バージョンアップの際の考慮点や注意事項をまとめた Notes データベース
 - 非互換情報
 - 改修方法
- 以下の情報を元に記載
 - 既存の非互換情報を基に互換性テストした結果
 - リリースノート/ヘルプに記載された追加/変更情報

Hint&Tips集の利用上の注意点

Hint & Tips集に記載されている非互換を全て修正する必要はありません。

✓ お客様の環境や利用状況、非互換の影響度・対応容易さによって非互換に対応するかどうか判断してください

- 実用上支障がない非互換
 - バージョンによってエラーメッセージが異なる
 - Standard版のみ発生する
- 再現条件が現実的ではない非互換
 - 2000年以前の日付を入力する場合のみ発生する
 - デバッグモードの場合のみ発生する
- データベースの利用形態、重要度、使用頻度による判別

例えば、次のようなデータベースは対象外とする

- **-** マニュアル用DBなど、一般ユーザーは編集しない
- 古いDBをアーカイブとして保存しており、今後は参照のみ

「Hint&Tips集 V14」のポイント

非互換情報の見方

Domino 9 から 14 にバージョンアップする場合には Hint&Tips集の「9→11」、「11・12→14」タブの非互換情報を確認してください。

Notes 14 について

Notes 14 は 64ビット版の Standard版クライアントの提供のみとなりました。

アプリケーションを Notes クライアントで利用されている場合には、Hint&Tips集の「64ビット版 Notes クライアント利用時の考慮点」を参照してください。

なお、Basic版を利用されている場合には既存バージョンの Basic版→ Standard版に関する非互換情報も確認してください。 (参考情報) HCL Notes 14 では 32ビット版 (Basic 版) クライアントは提供されません

https://support.hcl-software.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0108755

■ 第3章その他Tips

Nomad に関する技術情報やサポートポータルのナレッジの使い方を記載していますので、活用してください。

移行チェックツールの概要

アプリケーションの非互換箇所の洗い出し作業を支援

- ✓ 洗い出し作業時間の大幅な削減
- ✓ 洗い出し漏れの防止

- アプリケーションDB内に「非互換が発生する可能性がある箇所」の洗い出しを支援
 - Hint & Tips集で記載されている非互換情報をキーワードとして、調査対象の Domino アプリケーションを検索
 - 非互換関数が使用されている箇所をリストアップ

稼働環境と入手方法 ~移行Hint & Tips集、移行チェックツール~

Hint&Tips 集の稼動環境

HCL Notes クライアント 9.x 以降 他製品のインストール不要

移行チェックツール(NDACC)の稼動環境

HCL Notes クライアント 9.x 以降 別途、Teamstudio Analyzer をインストールする必要がある

入手方法

ノーツコンソーシアム様の案内をご参照ください ノーツコンソーシアム様 「会員の特典」ページ https://www.notescons.gr.jp/home.nsf/content.xsp?k=specialfavor

Teamstudio Analyzer は、チームスタジオジャパン株式会社様の案内をご参照ください チームスタジオジャパン株式会社様Webサイト https://jp.teamstudio.com/analyzer

HCLSoftware